

JARL

香川クラブ報

No. 440 令和3年12月1日



J A 5 Y D E

忘年会のご案内

寒い冬が目前に近づいてきました。皆様方には何かとお忙しいこととは思いますが、今年も恒例のクラブ忘年会を下記の通り開催致しますので、万障お繰り合わせの上、多数ご参加下さいます様ご案内申し上げます。

今年はコロナ、コロナであらゆるイベントが中止となり忘年会の開催も危ぶまれましたが今年一年の思い出話等、一杯かたむけながら楽しいひとときを過ごしませんか。なお、恐縮ですが準備の都合上12月18日（土）迄に出欠のご返事を宜しくお願い申し上げます。

記

日 時 12月25日（土）午後6時～

場 所 寿し×海鮮酒場 酔灯屋

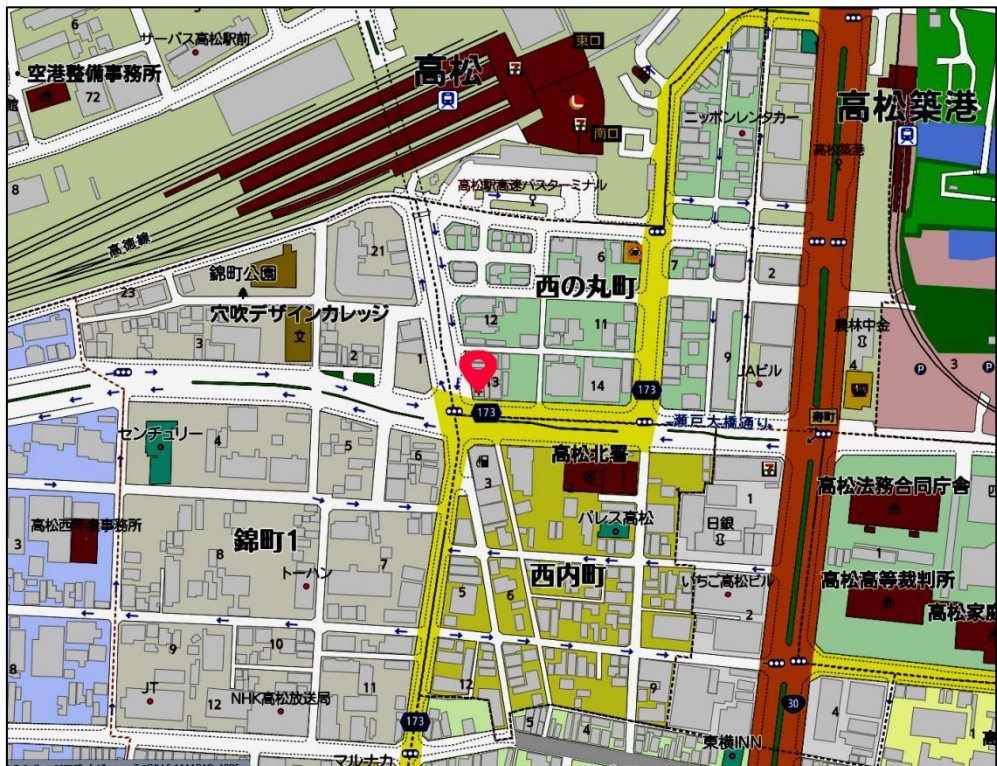
〒760-0021 高松市西の丸町13-7 3F

TEL 087-822-1688

会 費 男性 5,000円

女性 4,000円

連 絡 先 JA5TOP 平賀



クラブミーティングの報告

JG5JXW 坂井進史

去る10月28日（木）市内三谷町の「高松市三谷コミュニティセンター」でクラブのミーティングが開催されました。三好会長から、コロナ禍も原因不明ながら感染者数も減ってきて落ちつきはじめた事や温暖化について話がありました。またクラブでデジタル通信の免許をとったのでFT8等についても交信可能になったと報告がありました。オリンピックの記念局も終わり無線の方も静かになったこと、ARDF大会については中止が相次ぎ四国大会についても中止となっていますと言う話がありました。各議題については以下の通りです。



1. 香川マラソンコンテストの担当について話し合い、以下の予定に決まりました。

2021 香川マラソンコンテスト (JA5YDE)

運用担当者表

日	12/1～2	12/3	12/4～5	12/6～8
運用者	JA5TOP	JH5WMN	JI5SAI	JA5CAU
日	12/9	12/10～11	12/12～13	12/14～15
運用者	JA5BNY	JG5JXW	JI5SAO	JH5LYW

※ いずれも交代は08:00時とする。なお、交信ログをJH5LYWまで。

2. 忘年会開催のことについて、コロナ禍はまだ予断を許さない状況ではありますが、香川県の感染は落ち着いてきており、昨年（中止）計画していたおなじ会場で実施することになりました。

開催日時は12月25日（土）18:00～で決定。

連絡係としては昨年のスライドでJA5TOP 平賀さんが行うことになりました。

今回も三好会長からチーズケーキの差し入れをいただきました。
いつもありがとうございます。



【参加者】 JA5BNY／JA5CAU／JA5TFJ／JA5TOP／JG5JXW／JH5LYW
JH5WMN／JI5SAI／JI5SAO (9名)

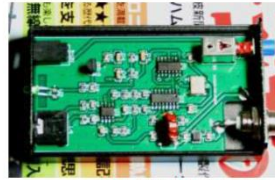
製作技術講習会

JG5JXW 坂井進史

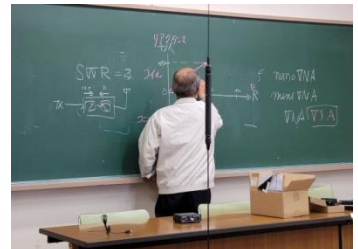
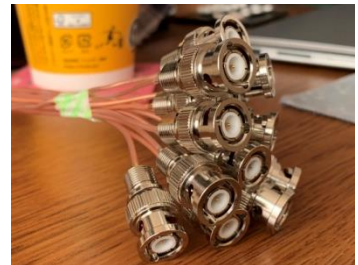
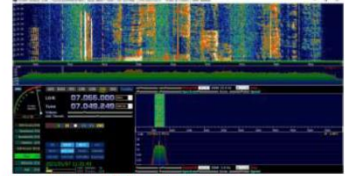
11月7日（日）にまん延防止措置により延期となっていた製作技術講習会が再開される事になりました。今回は製作はせずに SDR 受信機をパソコンにセットするだけという珍しいタイプです。森國香川県支部長が事前に確認した様子では特に問題も無く動作したようでお題として決定されたようです。

事前に私の所にも実機を持ってこられたので後日確認していると、最近のノートパソコンでは Y 型のマイクとヘッドホンを分ける部品が必要な事が判明し本体と一緒に配布されることになりました。私の環境だけでは不安でしたので、フレンド局にも確認をお願いし、無事に動作することは確認済みでした。講習会当日に必要と思われるリグや HF のアンテナの動作確認をして、芯線だけの線を繋がないと近くでリグから電波を出しても受信できないようでしたので、簡易なアンテナを準備しました。BNC コネクタは売るほど在庫していたのでそれに芯線をハンダ付けし私だけは製作作業ができたわけです。

そして当日は「すんなりいけば 30 分で終わるかも」と安易に考えていましたが、始まってみると参加者全員うまく動作せず、この後の講習を担当する大井 OM や参加者同士で「ああでもないこうでもない」とてんやわんやの大騒ぎとなっていました。結局 2 名の方はまったく動作しないまま時間切れとなりました。午後は大井 OM から SDR の説明やスミスチャートの説明があり、参加者の皆さん興味津々で聞き入っていて、中にはスマホで録画したり講習会中に紹介された書籍や NanoVNA を早速購入された方もいらっしゃいます。少しでも参加した意義のある会にして頂けたので内心ホッとしましたが、私自身はどっと疲れしました。自分自身が使ってみて「これなら大丈夫」と思う物を紹介しないとダメだと反省したのです。



SDR (High Definition Software Defined Radio) 受信機と SDR 受信画面
SDR 受信機をパソコンにオーディオケーブル接続で 7MHz 等の受信機に早変わり !!



久しぶり～♪ げんきですかぁ～♪

JH5LYW 三好伸幸

2021 中国地方 ARDF 競技大会が 11 月 14 日島根県大田市にある三瓶山西の原において実施との発表がなされました。

令和元年 12 月 31 日、中国湖北省武漢市において「原因不明の肺炎発生」と発表され、瞬く間に世界中へ「新型コロナウイルス感染症」として感染拡大。年明け 2 月 3 日、大型クルーズ船ダイヤモンドプリンセス号が横浜港に停泊。船内において多数の感染者や死亡者が報告されました。その後、国内において感染経路不明の罹患者が多発、さっぽろ雪まつりを始め各地でクラスターが発生し、日本中が震撼する事態となり、今年 8 月 18 日には香川県においても、一日当たりの感染者数が 111 名、全国で 25,975 名という異常事態となりました。

予防ワクチンが承認され、国民のそれぞれが感染防止に努めている成果なのか、9 月に入り徐々に感染者数が減少に転じてきました。

JARL 香川県支部や四国地方本部の行事計画も軒並み延期または中止を余儀なくされておりますが、感染防止ガイドラインが確実に実施できる行事については実施する方向で検討され、先日の製作技術講習会は予定通り開催されました。

まだまだ予断を許さない状況は続いており、専門家の意見はもちろん、我々素人が考えてもこのまま終息するとは思えないのが正直なところです。

さて話は戻りますが、令和元年 10 月に北海道で開催された「全日本 ARDF 競技大会」以来各地で計画されていた ARDF 大会のほとんどが延期または中止となっており、自宅軟禁状態に辟易しているのは私だけではないでしょう。

そんな中、今回の「中国地方 ARDF 競技大会」の案内には心躍り、私の闘志が蘇りワクワクするものでした。

ARDF 競技は、基本的に屋外の自然いっぱいの中で換気や密集を危惧することはありません、通常生活と何ら変わりはないと思っていますので参加することにしました。

ただ、こればかりは家族の反対を押し切ってまで強引に参加する訳にもいかず、XYL に大会の詳細と 2 泊 3 日の旅行を持ちかけると二つ返事で OK が返ってきました。

このご時世おおっぴらに各局を誘う訳にもいかず、それとなく声を掛けてみましたが皆さん用心しているのか、はたまた長いブランクや先の見えない恐怖に意欲を喪失しているのか「参加計画していますよ」という返事はありませんでした。そうこうしながら、久しぶりの大会と夫婦旅行に心躍る日々、後はコロナ感染者数が増加しないことを願うだけでした。



11 月 12 日、少し遅めに自宅をスタート。XYL たったの希望で「RSK パラ園」に寄り道しました。人影はまばらで、春と違って開花している数も比較になりませんが、園内をゆっくり散策することができました。

昼食がてら、福山 SA に寄りましたが、思っていたより人は少なく、まだまだコロナ自粛が



続いているのを実感しました。



紅葉に包まれた「中国やまなみ街道」を経て出雲大社に到着したころは天候のせいもあり少し薄暗くなりかけていました。それから、小雨交じりの中、三瓶山麓のホテルに到着。夕食もいただいて、温泉は3回、途中道の駅で仕入れた焼酎で今日の疲れを癒しました。

11月13日、朝起きてまた入浴。谷あい部分的に発生した雲海を眺めながら、今回の観光のメインである「石見銀山」に着くと、観光ガイドの方に声を掛けられ、ワンコインで観光案内をしてもらうことができました。

個人では分からない場所やいろいろな説明を受けながら、目玉の「龍源寺間歩」を見学。どこの金山や銀山などの鉱山でも思うのですが、こんな狭い空間に岩石を削りながら縦横無尽に掘り進めていたという史実には想像を絶するものです。

解散後、来た道を引き返すと、今度は街並みや代官所跡を散策し、出雲そばに舌鼓。少し早めに宿に帰って温泉に浸かったり焼酎を飲んで明日に備えました。

夕食も終わって、再び入った温泉で、浴場から出てきた二人連れに「久しぶり〜♪」と声を掛けると「あら〜♪ 三好さ〜ん」、思わず3人で「げんきですかあ〜♪」。九州から参加してきている2人でした。

いよいよ待ちに待った大会当日。まずは温泉に浸かろうと脱衣場で浴衣を脱ごうとした時、後から入ってきた2人を見て「久しぶり〜♪ げんきですかあ〜♪」。大会主催者の古城OMとスタッフの方で、一緒に湯船に浸かりながら再開と大会の開催を喜びあいました。

大会受付前の小雨もスタート時には晴れ間が見え、F Bな大会日和となりました。

まず、一番近い第2TXを11分余りでゲット。幸先の良い展開にニンマリしたのですが、

次に向かった第5TXで大チョンボ。思い込みと大して強くもない反射波に惑わされ右往左往。蟻地獄から抜け出すことが出来ず5分単位で時間が過ぎていきます。

2年前の北海道の全日本大会から同じパターンで泣くに泣けないロスタイム。

何とかゲットして、第1TX、第3TXと順調だったのですが、最後の第4TXにまたもや



ロスタイムをやらかして、結果は1時間18分12秒。弁当を食べながら地図と地形を振り返ると30分近くのミスに反省しきり。あそこで、ここでと振り返ってみても所詮結果論。

毎回のことですが、反省が次に生かされない無能さにしばらくは自己嫌悪。ですが、また次を頑張ろうと思える楽しみでもあります。

閉会式も終わり、各局と次の大会の開催や再会を誓い合い解散となりました。



帰るべく準備をしていると、広場で臨時の仮設ステージにおいて「石見お神楽」が15時から開催されるとのことです。旅行前からいろいろ「石見お神楽」が見学できるところを探していたのですが、ホテルから演舞場までの往復時間や場所の折り合いがつかず諦めていました。まさか、この時間にここで見られるとは思ってもいなかったのが、帰るのが少し遅くなっても一見の価値ありと入場することにしました。

1時間余りしっかりと堪能することができました。演舞の合間で、団長？から「お客様の前でお神楽を披露したのは2年以上前のことで、練習さえもままならず、今この場でこの時が我々にとって感無量です」とのことでした。いろいろ趣味や立場が違えども、皆さん同じ状況なんだなあと考えさせられました。

演舞の合間では、どこから来たのかと会場にいる観覧者たちへ聞かれ、私にも尋ねられたので「四国の高松です」と答えると、「遠くからよく来てくれました」と、とても喜んでくれました。

お神楽の最後には、撮影会が実施されましたがたくさん希望者もいたし、帰りの時間もあるのでその場を去ろうとしたら「せっかく遠くから見えているので、ぜひ写真を」と、たくさん並んでいる人たちの間に割り込ませてくれました。辞退したのですが並んでいる人たちに同意を取ってくださり、好意を無にする訳にもいかず、甘えさせてもらうことにしました。



「美郷町忍原地頭所神楽団」のメンバーや割り込ませていただいた皆さんに何度もお礼を言いながら、何とも言えない清々しさを会場を後にし、感動に浸りながら帰宅することができました。

コロナの感染状況や自分自身の年齢を考えると何時までARDFを楽しめるかは分かりませんが、一日も早くコロナウィルス感染症が終息して、当たり前のように生活できることを願って、次回どこかで開催される大会を夢見ながら、反省が生きるARDFと夫婦旅行を今後も精一杯楽しみたいと思っています。

2021 年度香川マラソンコンテスト実施要領

J A R L 香川県支部では香川県内局の親睦を図る為、次の要領で香川マラソンコンテストを開催します。J A R L 会員、会員でない方の区別なく入賞者は表彰します。

〈期 間〉 2021 年 12 月 1 日 (00:00)～12 月 15 日 (24:00)

〈参加部門〉

- ① 個人局＝シングルバンド・シングルモードの部
電信……1.9MHz～10GHz 帯
電話……1.9MHz～10GHz 帯
- ② 個人局＝マルチバンド・マルチモードの部
マルチバンド・電信の部
- ② 個人局＝RTTY, ATV, FAX, SSTV, FT8 (FT4 含む) の各部・マルチバンド
- ④ 社団局＝マルチバンド・マルチモード
- ⑤ ニューカマー局＝マルチバンド・マルチモードの部 (12 月 1 日現在で開局 5 年未満の局)
- ⑥ SWL＝マルチバンド・マルチモード
- ⑦ その他 3.8, 10, 18, 24MHz 帯は含まない

〈資 格〉 香川県内にて運用するアマチュア局及び
SWL (コールサインを持っている局の SWL 部門への参加は認めません)

〈交 信〉

- ① 出し……電 話「CQ 香川マラソンコンテスト」 電 信「CQ KA TEST」
FT8 (FT4 含む)「CQ KA」
- ② コンテストナンバー…「RS(T)＋発信市町ナンバー(または市町名)」
(FT8 の RST はデシベル情報を使わず全ての交信を 599 として下さい)
高 松 市＝3601 宇 多 津 町＝36001C
丸 亀 市＝3602 綾 川 町＝36001G
坂 出 市＝3603 直 島 町＝36003C
善 通 寺 市＝3604 三 木 町＝36004B
観 音 寺 市＝3605 土 庄 町＝36005C
さ ぬ き 市＝3606 小 豆 島 町＝36005D
東かがわ市＝3607 琴 平 町＝36006A
三 豊 市＝3608 多 度 津 町＝36006B
まんのう町＝36006F
- ③ 香川県内で運用する局間の QSO のみ有効

〈注意事項〉

- ① 同一局との交信は同一バンド内では 1 交信のみ
- ② クロスバンドの交信は認めない
- ③ パケット通信によるナンバー交換はチャットで行いデジピートによる交信は認めない
- ④ 2 波以上の電波の同時発射はすべて禁止する
- ⑤ 総務省告示のバンド使用区別を守りレピータ及びメインでのナンバー交換は絶対にしないこと
- ⑥ 電波法を守ること

〈得点、マルチプレイヤー〉

- ① 得点 完全な1交信を1得点とする
- ② マルチプレイヤー 各バンドで交信した異なる市町の数
- ③ 日数マルチプレイヤー 交信日数（ログ提出部門の日数で最高は15日）
- ④ 総得点…(各バンドで得た得点の和)×(各バンドで得たマルチの和+日数マルチ)=総得点

〈ログの記入方法〉

- ① ログ及びサマリーシートはJARL制定(A4)のもの、または同様式のものを使用し、バンド別に整理し交信順に記入する
- ② サマリーシートはログの上部に付けホッチキスで止める（複数の局を同封する場合は1局ごとに綴る）

〈失 格〉

- ① 電波法またはこれに基づく命令及びコンテスト規約に違反したとき
- ② 提出書類の不備
- ③ 虚偽の報告をしたもの

〈締切日・提出先〉

- ・ 2022年1月4日（火曜必着）
769-1101 三豊市詫間町詫間 4673-1 加藤 秀和様方 香川マラソンコンテスト係
- ・ 電子ログ(E-mail)による提出の場合、所定の様式(JARL Web を参照)で作成したデータをテキストメール（添付はダメ）として、件名欄にコールサインを記入して提出先アドレス kagawa@jarl.com に送信してください。到達確認の返信メールを送ります。
データは CTESTWIN, HLTST7, HLTST8, ZLOG, TurboHamlogCSV を希望します。

〈発 表〉

- ・ 2022年2月発行のJARL 香川県支部報

〈入 賞〉

- ・ 入賞は各部門ごとに参加者数に応じて

〈表 彰〉

- ・ 2022年3月20日丸亀市アイレックスで開催予定の「ハムフェスティバル in かがわ」会場

★日数マルチ8日でF Bな賞品

今年もコンテスト参加者の内「日数マルチ8日以上のログ提出者」には、抽選でF Bな賞品が当たります。

★当コンテストに関する一切の権限は、JARL 香川県支部コンテスト委員会が有します。 なお、ルール等の問合せは「JA5ARW」支部長まで。

（個人情報の利用について）

JARLは、個人情報を取得した際の利用目的の範囲内でJARLの実施するコンテスト業務遂行（集計・審査・結果発表・賞状発送等）のために利用します。

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ：B5サイズ 出来ればWordで作成しメール、電子メールが無い場合はfaxか郵送。

送 付 先：E-mail

Fax

郵 送 先：〒761-

★★★ 新入会員募集中 ★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成 73 年(1948 年 10 月結成)になります。

そこで更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

*お知らせ

J A R L 香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

*** 会費納入口座 ***

香川県農業協同組合 高松市中央一宮支店 店舗番号 8332-301

口座番号 0054595 「JARL 香川クラブ 会長 三好伸幸」

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三 好	伸 幸
編 集 者	J A 5 T F J	横 田	寿 夫
	J A 5 T O P	平 賀	正 明
	J I 5 V U Z	市 原	義 博
	J I 5 X T P	坂 内	信 洋
	J G 5 J X W	坂 井	進 史